



## 待望久しき

## 平和會議

昨年、殊に下半期は、新聞報に、將又、チヂ放送に、太平洋和會議が、年内にも開けるかの如く、希望されたに限らず、それが年末から新年に懸ると、なんど忘れられたる如く、振り返り、此の具合で、外の我々が待焦るに三、四月頃の蓋用紙も、開きさうな氣振り無さと、歯痒く思はざるを得ないのだ。

尤も、太平洋和會議なるものは、是れまで戦時國際公法上取扱はれたる、來り平和會議とは其の趣を異にし、戰勝國が敗戦國を強制的に捕虜する性質のものではなく、始めから關係国が共和の精神を以て、終戦から生ずる所の結果を決定するに過ぎないので、

爲心に、國交を恢復し得べきかを協議するものなるが故に、双方世界恒久平和を眼目とする太平洋平和會議は、其の名の如く双方の意願既に合致し、急いで会合がなされ、結局共同平和の樹立で、先づ其の前に、各々國內の整理と、ソ連に對する順序とを決めて掛るを

日本国内に相當の勢力を有する政治家は、今後日本の世界發展に備ふる二つの異なる外國人記者の報じた。謂ゆる「信するに足る某消息通」によると、日本内閣交渉から推測して、そのに感ぜざるを得ないのである。

即ち消息通の「國內に相当勢力を有する政治家は、二つの異なる大きな計劃を持つて云々」は其の一人は前首相で現在在野党たる自由党の總裁田茂氏、後者は、今度瓦解した片山内閣の副總理格たる民主黨總裁の芦田均氏にして、此の二人は、國と云つても現在日本の政治家中出色な人物で、前者は米・英派、後者は中國東亜諸國派であるから、反対の大立場であるから、此眞實くの中には兩者連絡か、相當時刻

な何物かを演ずると想ふが

鬼に角凡てに済まさぬ事だ

けは肯かれる。

是に由つて之を見れば、

想たる八絆一字を世界に弘

んぞ忘れられたる如く、部

道されたに限らず、それが

年未から新年に懸ると、始

んど忘れられたる如く、部

</div



